

事務事業及び予算の執行実績

(令和3年度分「一部、令和4年度分を含む」)

静岡県立沼津視覚特別支援学校

1 事務事業に関すること	
(1) 事務事業の概要	1
(2) 事務執行の根拠法令調	13
2 職員に関すること	
(1) 職員調	14
(2) 職員の年齢調	15
(3) 健康管理	16
3 予算の総括に関すること	
(1) 歳入予算執行状況調	18
(2) 現金出納調	22
(3) 預金調	23
(4) 郵券等受払調	23
(5) 歳入歳出外現金調	24
(6) 歳出予算執行状況調	25
(7) 委託料等歳出予算執行状況節別集計表	30
4 補助金等に関すること	
(1) 委託料に関する調	31
(2) 負担金支出調	33
5 工事に関すること	
(1) 建築工事調	34
6 財産に関すること	
(1) 公有財産調	36
(2) 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	38
(3) 行政財産貸付・使用許可調	39
(4) 備品・図書調	40
(5) 主要備品調	46

事務事業の概要

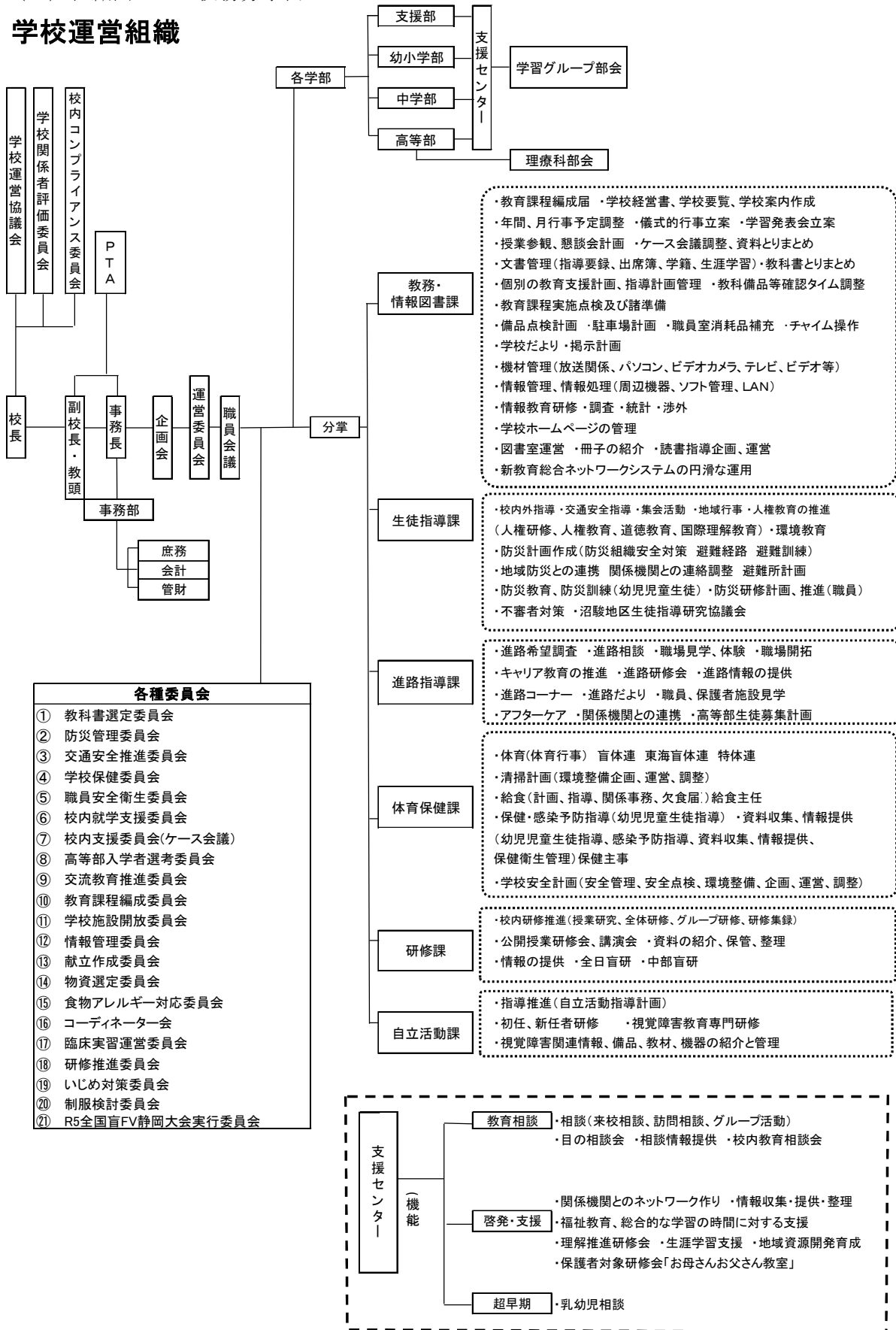
1 概況

(1) 学校の沿革

昭和24年4月1日	静岡県立沼津盲学校設立認可
昭和24年5月10日	元沼津兵器本館階上（沼津市大岡）を仮校舎として入学式挙行
昭和24年6月10日	開校式挙行
昭和24年12月27日	新校舎に移転（沼津市三枚橋米山町536の5）
昭和25年4月28日	落成式挙行
昭和26年8月23日	寄宿舍2室増築
昭和28年6月6日	盲学校・聾学校分離
昭和29年4月1日	中学部設置
昭和32年4月1日	あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師学校養成施設認定規則により高等部理療科本科及び別科設置認定
昭和32年11月26日	校舎2階建1棟(解剖室・針灸実習室・あんま室・普通教室2)増築
昭和34年10月4日	寄宿舍2階建4室増築
昭和35年4月1日	高等部専攻科設置認定
昭和35年12月27日	校舎2階建2教室・灸実習室・臨床実習室・診察室・患者待合室増築
昭和38年3月25日	体育館兼講堂完成
昭和38年5月20日	校旗制定
昭和43年9月30日	住居表示の変更により沼津市米山町6番20号となる
昭和44年11月1日	創立20周年記念式典挙行
昭和48年4月1日	静岡県立盲学校高等部の統合により高等部理療科本科並びに専攻科の募集を停止、幼稚部設置
昭和52年3月31日	静岡県立沼津盲学校高等部廃止
昭和52年4月1日	静岡県立盲学校学則の改正により別科は浜松盲学校高等部別科（分教室）となる
昭和53年3月7日	新寄宿舍完成
昭和54年3月20日	南館完成
昭和55年3月27日	本館完成
昭和55年6月7日	創立30周年・校舎落成記念式典挙行
昭和61年3月25日	プール及び付属棟完成
平成元年11月11日	創立40周年記念式典挙行
平成2年4月1日	静岡県立盲学校学則の一部改正に伴い静岡県立浜松盲学校分室として高等部本科保健理療科を設置するとともに同別科の募集を停止
平成3年3月31日	静岡県立浜松盲学校高等部別科（分教室）廃止
平成9年10月17日	南館耐震補強工事完成
平成10年3月5日	新体育館兼講堂完成
平成10年10月8日	本館耐震補強工事完成
平成11年11月6日	創立50周年記念式典挙行
平成17年4月1日	寄宿舍休舎
平成20年4月1日	静岡県立沼津視覚特別支援学校に校名変更
平成21年11月7日	創立60周年記念式典挙行
平成25年3月25日	災害用マンホールトイレ完成
平成27年2月17日	蓄電池付太陽光発電設備完成
令和元年10月26日	創立70周年記念式典挙行
令和2年1月20日～22日	ダイアログ・イン・ザ・ダーク開催

(2) 組織図 校務分掌表

学校運営組織



2 目指す学校像

- ・幼児児童生徒が『学びがいのある学校』 ・外部の関係機関が『頼りがいのある学校』
- ・保護者・保証人が『通わせがいのある学校』 ・地域が『応援しがいのある学校』
- ・職員が『働きがいのある学校』

(1) 教育目標 『自立する人を育てる』

- 【自立する人とは】
- ・《知》豊かな感性と考えをもつ人
 - ・《心》他者と自分を愛する人
 - ・《体》健康な体を保つ人
 - ・逞しく自らの未来を切り拓く人
 - ・必要な支援を依頼でき、それに感謝できる人

(2) 目標具現化の柱

- ア 授業力の向上と視覚障害教育を中心とした専門性の維持・向上
- イ 心身の健康の保持・増進とキャリア教育の充実
- ウ 地域の特別支援教育のセンター的役割の遂行
- エ 防災・防犯教育の重視と安全で魅力的な環境づくり
- オ 業務への手応えとワークライフバランスの維持

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和3年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	授業力の向上と視覚障害を中心とした専門性の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材を通して、3観点を意識して授業ができた教員100% ・公開に向けて授業改善ができた教員90% ・自身の専門性の向上が実感できる職員100% ・視覚障害スポーツについての経験や知識が広がった職員90% ・情報保障の大切さが分かり、実践できた職員80% 	<ul style="list-style-type: none"> ・AB100% ・AB100% ・AB100% ・AB94% ・AB100% 	B	<p>授業力の向上に関しては、全体として高評価となった。職員研修としても、今年度から学習指導要領の柱となる3観点「個別の知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を意識した授業づくりを目指している。職員の意識は高まってきていると思う。その結果か、保護者アンケートでも、授業に関してよい評価を得られることができた。今後も研鑽を重ね、授業力向上、専門性の向上に努めたい。</p>
イ	心身の健康の保持・増進とキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生活でできることが増えたり、生活を整えることができた幼児児童生徒100% ・食育の内容や視点を取り入れた授業をした職員60% ・体力が向上した幼児児童生徒90% ・それぞれの個性や良さについて考える機会を設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・職AB100% 保AB83% ・職AB97% ・職AB100% 保AB94% ・AB96% 	B	<p>卒業後の進路を除き、職員の評価と保護者の評価に大きな乖離は見られなかった。今後も保護者との連携を大切にしながら、幼児児童生徒のキャリア教育の充実を図りたい。</p> <p>例年課題となる「卒業後の進路」については、今年度、個別面談時に話題にあげ、学校と保護者が一緒に考えていけるよう心掛けた。その成果か「見通しはまだで</p>

		<ul style="list-style-type: none"> した学級100% ・係などの責任を果たし、達成感を味わえた幼児児童生徒100% ・自分自身や必要な支援について、考えたり伝えたりできた幼児児童生徒80% ・夢や進路について、考えたり話したりできた児童生徒80% ・卒業後の進路について、いくつかの見通しがもてた保護者70% 	<ul style="list-style-type: none"> ・職AB100% 保AB94% ・職AB100% 保AB83% ・職AB100% ・職AB96% 保AB50% 		<p>も、相談にのってもらえてありがたい」という意見もいただいた。とはいえ、やはり「見通しを持つ」となると、上位学年でないと難しい。そこで、来年度はアンケートの文言を「いくつか見通しが持てた」から「学校と共に考える機会を持てた」などに変更したい。</p>
ウ	地域の特別支援教育のセンター的役割の遂行	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター等への理解推進・教育相談活動7回以上 ・全体で60か所以上へのPR ・ホームページやfacebookの更新一人1回以上。報道掲載3回以上。 ・第五地区センター、商工会議所でのマッサージ奉仕各1回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・AB100% ・AB100% ・AB96% ・AB88% 	A	<p>昨年度実施できなかった理解推進活動を、今年度は実施できた。先方の反応もよく、その成果の一つとして、福祉教育担当者会に多くの方が参加してくれた。地域とのつながりの大切さを改めて感じることができた。</p> <p>一方で、マッサージ奉仕など近隣地域との交流はほとんど実施できなかった。早く再開できる環境になってほしい。</p>
エ	防災・防犯教育の重視と安全で魅力的な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に自分で判断して動ける職員90% ・地域との共通理解の機会2回以上 ・様々な場合に自分の身の守り方が分かる幼児児童生徒80% ・学校環境の不備を原因とした事故の発生0 ・校内に魅力的な場所がある幼児児童生徒90% 	<ul style="list-style-type: none"> ・AB100% ・AB100% ・AB100% ・AB100% ・AB100% 	B	<p>防災関連では、今年度新たに地域の緊急避難地に指定された。避難訓練もこれまで同様実施できている。しかし、地域の方と共通理解する場合は、書面開催になってしまい、少し疎遠になり始めている。以前のように、地域とのつながりを確保する必要がある。</p>
オ	業務への手ごたえとワークライフバランスの維持	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児児童生徒の成長の様子を具体的に説明できる職員100% ・教材研究の日が有効だと答える職員90% ・定時退勤日を意識して業務調整ができる職員90% 	<ul style="list-style-type: none"> ・AB100% ・AB100% ・AB94% 	A	<p>昨年度より、少し評価が下がった。これは、なかなか早く帰ることのできない職員の自己反省の結果である。今後も教材研究や定時退勤日を明確にし、ワークライフバランスの維持に努めたい。</p>

(2) 令和4年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	授業力の向上と視覚障害教育を中心とした専門性の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価を踏まえた学習活動の展開 ・「主体的・対話的で深い学び」のためのG研修と一人1授業公開 ・必要な専門性について考え、研修する機会の設定 ・視覚障害スポーツについて学ぶ機会の設定 ・ICT機器の効果的な利用 ・情報保障の重要性について考え、実践する機会の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別の良さを生かした授業ができた教員 100% ・G研修と授業公開が授業改善や授業力向上につながった教員 90% ・自身の専門性の向上が実感できる職員 100% ・視覚障害スポーツについての経験や知識が広がった職員 90% ・児童生徒がICT機器を効果的に利用できるように工夫した教員 80% ・情報保障の大切さが分かり、実践できた職員 80% 	各学部 教務・研修 研修 自立活動 体育保健 各学部 教務 情報図書 各学部 自立活動
イ	心身の健康の保持・増進とキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や発達に応じた生活習慣の育成 ・栄養教諭と連携した各教科等での食育の工夫 ・努力の成果と次へのステップが分かる体力づくり ・違いや個性を認め、互いに尊重しあえる関係作りへの支援 ・役割を遂行し、達成感を味わう機会の設定 ・自己の特性と必要な支援について考え、伝える機会の設定 ・自分の夢や進路について考え、語る機会の設定 ・生徒等の将来について保護者と共に考える機会の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・できることが増えたり生活を整えることができたりした生徒等 100% ・食育の内容や視点を取り入れた授業をした職員 60% ・食の目標が達成できた生徒等 90% ・体力が向上した生徒等 90% ・それぞれの個性や良さについて考える機会を設定した学級 100% ・役割を果たし、達成感を味わえた生徒等 100% ・自分自身や必要な支援について、考えたり伝えたりできた生徒等 80% ・夢や進路について、考えたり話したりした生徒等 80% ・我が子の将来について学校と共に考える機会をもてた保護者 70% 	各学部 体育保健 体育保健 各学部 体育保健 各学部 生徒指導 各学部 各学部 進路指導 各学部 進路指導 各学部
ウ	地域の特別支援教育のセンター的役割の遂行	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターを重点とした連携推進と教育相談の実施 ・センター的機能周知のための効果的なPR活動 ・理解を広げるための効果的なメディアの利用 ・コミュニティ・スクール推進のための地域との協働活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター等への理解推進・教育相談活動7回以上 ・東部地区市町関係機関へのPR等 60か所以上 ・ホームページやfacebookの更新一人1回以上。 ・第五地区センター、商工会議所でのマッサージ奉仕各1回以上 ・地域との玄関前花壇の整備 	支援部 支援部 進路指導 教務 情報図書 管理職 高等部 小・中学部

エ	防災・防犯教育の重視と安全で魅力的な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルや防災計画の重要事項の共通理解 ・地域との防災協力の推進 ・場所や時間、状況設定を工夫した実践的な防災訓練と事後の振り返りの重視 ・視覚障害に対応した安全な学校環境の整備 ・活動意欲を高める安全で魅力的な環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に自分で判断して動ける職員 90% ・地域との共通理解の機会2回以上 ・様々な場合に自分の身の守り方が分かる幼児児童生徒 80% ・学校環境の不備を原因とした事故の発生 0 ・校内に魅力的な場所がある幼児児童生徒 90% 	体育保健 生徒指導 生徒指導 管理職 生徒指導 事務 体育保健 各学部
オ	業務への手ごたえとワークライフバランスの維持	<ul style="list-style-type: none"> ・学部やグループまたは保護者との、幼児児童生徒の成長を認め合う機会の設定 ・教材研究の日の確保とその活用方法の工夫 ・定時退勤日の設定と呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児児童生徒の成長の様子を具体的に説明できる職員 100% ・教材研究の日が有効だと答える職員 90% ・定時退勤日を意識して業務調整ができる職員 90% 	学部 教務 情報図書 教務 情報図書 管理職

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○全教員による理解推進活動 <ul style="list-style-type: none"> ・東部伊豆地域を8地域に分け、本校の概要や教育相談等の理解推進のため、各市町の教育委員会、福祉課、ハローワークを訪問する。 ○放課後等デイサービス連絡協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス事業者の担当者と連携・情報共有する。 ○医療と福祉と教育の研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉・教育機関の方を対象に視覚障害教育を理解推進する。 ○栄養教諭による食育指導 <ul style="list-style-type: none"> ・小学部の児童を対象に給食で使う食材を触ったりにおいをかいたりして食材に興味関心を持つ。 	<p>夏休み中に全職員で行った。2年度は実施できなかったため、初めての経験となる職員、先方の担当者も多かった。本校の理解を進めるためにも、継続していきたい。また、地域に暮らす視覚障害の方の実態を把握するよい機会にもなった。</p> <p>放課後等デイサービスを利用する保護者が増えたため、初めて連絡協議会を設定した。参加者・本校職員ともに、とても有意義な会となった。コロナ禍もあり、10月の開催となったが、次年度はもっと早い時期がよい、との意見が出た。</p> <p>2年度はコロナ禍のため実施できなかったが、12月13日に実施できた。上記理解推進活動で案内を配付し、多くの方に参加してもらえた。お互いを知ることができるよい機会となった。</p> <p>年5回実施。5月にそら豆、7月にトウモロコシ、10月にピーマン、12月エリンギ、1月白菜とタマネギを取り上げ、触ったり、においをかいたり、皮をむいたりなどの調理補助を行った。食材の興味・関心を高める機会となっている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器を活用した教育活動の充実 ・ ZOOMを用いた遠隔による教育相談、授業、交流 	<p>コロナ禍によりZOOMを用いた研修は当たり前となった。また授業でも、遠隔地の他校と授業交流ができるようになった。小学部では静岡視覚、石川盲と国語の交流授業を8回実施し、とても有意義であった。今後もICT機器を特別なものでなく、当たり前に必要な補助具として使用していきたい。</p>
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○全教員による理解推進活動 ・ 東部伊豆地域を8地域に分け、本校の概要や教育相談等の理解推進のため、各市町の教育委員会、福祉課、ハローワークを訪問する。 ○放課後等デイサービス連絡協議会の開催 ・ 放課後等デイサービス事業者の担当者と連携・情報共有する。 ○オープンスクール・医療と福祉と教育の研修会の開催 ・ 午前と午後に分けて医療・福祉・教育機関の方を対象に視覚障害教育を理解推進する。 ○栄養教諭による食育指導 ・ 小学部の児童を対象に給食で使う食材を触ったりにおいをかいだりして食材に興味関心を持つ。 ○静岡県造園緑化協会の「特別支援学校 緑の保全事業」による花壇の植栽 ・ 小中学部で花壇に関するアンケートやデザイン案を検討する。学校運営協議会のアドバイスにより、地域の方の参加も促し、交流を図る。 ○第五地区ふれあいの集い2022への参加 	<p>夏休み中に全職員で行った。コロナで実施できなかった年もあったが、本校の理解を進めるためにも、継続する必要がある。それにより、先方との情報共有が円滑になるとともに連携にもつながる。</p> <p>3年度の意見もあり、6月に実施した。年度の早い段階に実施することで、連携をよりスムーズに行える。今後も継続していきたい。</p> <p>オープンスクールは参加者を限定し3年ぶりの開催予定である。研修会は昨年度に引き続き実施予定である。今後の連携のためにも是非実施したい。</p> <p>年5回実施予定。今年度も5月にそら豆、7月にトウモロコシを取りあげ、触ったり、においをかいだりし、皮をむくなどの調理補助を行った。食材の興味・関心を高める機会となっている。</p> <p>10月11日に、小学部2年5人と、地域の方8人に参加していただき実施した。コロナ禍となってから、地域の方と直接触れあう機会がなく、久しぶりの交流となった。事前に参加者の写真を提供してもらい、子どもたちもスムーズに交流することができた。参加者も子どもたちを自然にサポートしてくれたため、笑顔あふれるとてもよい交流となった。また、これからの水やりにも地域の方が協力してもらえらることとなり、今後につなげていくことができた。</p> <p>11月6日の日曜日に学校所在地である第五地区のコミュニティ推進委員会主</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・点字ブロックの理解推進 ・児童生徒の作品展示 	催の地域イベントに参加予定である。コロナ禍で減った地域とのつながりを確保する重要な機会である。
--	--	---

5 教職員について

(1) 3年度異動状況

(単位：人)

職名 区分	本務職員											臨時・会計年度任用職員							合計					
	教育職員						行政職員					本務計	教諭(任)	教諭(臨)	実習助手(臨)	主事(臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員		非常勤労務職員	臨時計			
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	小計	事務長	主査	主事	技能長											小計		
転出者			1	2			3	1				1	4									0	4	
退職者	1			1			2					0	2		2				1				3	5
計	1	0	1	3	0	0	5	1	0	0	0	1	6	0	2	0	0	1	0	0		3	9	
転入者				3			0	3				0	3										0	3
新任者	1	1					2	1				1	3	1					2	1	0	4	7	
計	1	1	0	3	0	0	5	1	0	0	0	1	6	1	0	0	0	2	1	0		4	10	
差引増減	0	1	△1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	△2	0	0	1	1	0		1	1	

(2) 現員数

(令和4年4月1日現在) (単位：人)

職名 区分	本務職員											臨時・会計年度任用職員							合計				
	教育職員						行政職員					本務計	教諭(任)	教諭(臨)	実習助手(臨)	主事(臨)	非常勤講師	非常勤労務職員		臨時計			
	校長	副校長	教諭	養護教諭	栄養教諭	小計	事務長	主査	主事	技能長	小計												
男		1	12			14				1	1	15		2	1			1				4	19
女	1		14	1	1	16	1	1	1		3	19	1	1			1			2		5	24
計	1	1	26	1	1	30	1	1	1	1	4	34	1	3	1	1	1		2		9	43	

(再掲) 再任用教諭：フルタイム1人、週19時間25分1人

(3) 健康管理について

<令和3年度>

ア 健康管理の推進

教職員健康診断は、全教職員が受診した。再検査を通知された者には早期の再受診を勧め、主治医の下で経過観察・治療中の者からは定期受診の結果を受けた。

職員安全衛生委員会は、定期的に開催している。委員には各学部の代表として視覚障害

を持つ当事者職員から選出した。当事者としての視点で、現状の報告や環境衛生について話し合った。出された意見は、掲示板や全体打合せで周知した。

イ 腰痛予防対策

県が実施する腰痛予防健診を実施し、再検査はいなかった。

<令和4年度>

ア 健康管理の推進

教職員健康診断は、全教職員が11月中に終了予定である。再検査を通知された者には早期の再受診を勧める。

職員安全衛生委員会は、定期的開催している。委員には各学部の代表として視覚障害を持つ当事者職員と新任職員から選出した。視覚障害当事者としての視点と新任職員の新たな視点で、現状の報告や環境衛生について話し合っている。出された意見は、掲示板や全体打合せで周知している。

イ 腰痛予防対策

腰痛予防対策として県が実施する腰痛予防健診を実施し、必要に応じて二次検診を実施する予定である。

(4) 教職員の研修について

<令和3年度>

ア 授業づくり研修

目的	内容	成果と課題
「3観点を意識した授業づくり・授業改善」を研究主題に3つのグループに分かれ、よりよい授業づくりになるよう研修を行う。	<p>全体研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部中心授業 ・事後研修会 <p>それぞれの中心授業をとおして、授業改善、教科指導力の向上を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修 <p>3観点を意識した教科指導の学習評価(5/18)</p> <p>教科グループ中心授業(10/25)</p> <p>重複グループ中心授業(11/16)</p> <p>高等部中心授業(11/30)</p> <p>どの授業公開についても全教職員で授業を参観した後、生徒のあらわれから授業づくりにせまる「学習指導過視化法」による授業反省を行う。協議する観点を絞り込むことで、充実した協議を行い、今後の授業づくりに生かせる機会となった。</p>
	<p>グループ研修</p> <p>「教科グループ」「重複グループ」「高等部」に分かれて、研修主題に迫る授業づくりに向けて研修を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごと研究主題に迫るために3観点を意識し、どのような授業づくりをしたいか、どのように授業を改善したいかを検討する。このことを通し、授業で目指す像を共有し、それを基に各自が授業を行った。 ・グループごとに3観点を意識し、全教職員が一人一授業公開を行った。

目 的	内 容	成果と課題
		<ul style="list-style-type: none"> ・高等部は令和4年度の全日盲研発表につながる研修を行った。
	専門研修 <ul style="list-style-type: none"> ・研修出張の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外の研修会や講演会に参加した職員が、全体に校内掲示板等で情報を共有し、職員全体の指導の質を高める機会となった。

イ 自立活動研修

目 的	内 容	成果と課題
視覚障害のある幼児児童生徒への基礎的支援方法を習得する。	基礎研修 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害の基本 ・点字の基礎、手引き歩行 ・触察体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・新任者を対象とした基礎研修を行った。基礎基本を、学ぶことができた。専門性の基礎となる部分であるので、継続していきたい。
	自立活動専門研修 ①聴覚障害と人工内耳・指文字 ②UDブラウザ ③プログラミング教育について	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害を併せ持つ児童もいるため、基礎知識の確認を行った。 ・視覚支援の専門性を伸ばすため、UDブラウザの活用について研修を行った。 ・新たに取り入れられたプログラミング教育について、視覚障害児・者向けにどのように使えるか研修した。

<令和4年度>

ア 授業づくり研修

目 的	内 容	成果と課題
「3観点を意識した授業づくり・授業改善」を研究主題に3つのグループに分かれ、よりよい授業づくりになるよう研修を行う。	全体研修 <ul style="list-style-type: none"> ・学部中心授業 ・事後研修会 それぞれの中心授業をとおして、授業改善、教科指導力の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修 教科指導学習会（4/18） 教科グループ中心授業（11/22） 重複グループ中心授業（9/6） 高等部中心授業（10月ごろ） どの授業公開についても録画参観を含め全教職員で授業を参観した後、授業反省・研究協議を行う。協議する観点を絞り込むことで、充実した協議を行った。
	グループ研修 「教科グループ」「重複グループ」「高等部」に分かれて、研修主題に迫る授業づくりに向けて研修を	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごと研究主題に迫るために3観点を意識し、どのような授業づくりをしたいか、どのように授業を改善したいかを検討する。このことを通し、授業で目指す像を共有し、それを基に各自が授業を行った。 ・グループごとに3観点を意識し、全教職員

目 的	内 容	成果と課題
	行う。	が一人一授業を行う予定である。
	専門研修 ・研修出張の共有	・様々な研修会や講演会に参加した職員が、全体に校内掲示板等で情報を共有し、職員全体の指導の質を高める機会とする予定である。

イ 自立活動研修

目 的	内 容	成果と課題
視覚障害のある幼児児童生徒への基礎的支援方法を習得する。	基礎研修 ・視覚障害の基本 ・点字の基礎、手引き歩行 ・触察体験	・新任者を対象とした基礎研修を行った。基礎基本を、学ぶことができた。専門性の基礎となる部分であるので、継続していきたい。
	自立活動専門研修 ①視覚障害・聴覚障害の理解 ②便利機器やグッズ ③点図点字プリンタ ④歩行指導	・聴覚障害を併せ持つ児童もいるため、聴覚障害も含め基礎知識の確認を行った。 ・視覚障害当事者職員から便利機器やグッズの紹介を行った。児童生徒に紹介する上で知っておくべきポイントを確認できた。 ・視覚支援の専門性を維持ため、点図だけでなく、歩行訓練士を招いて歩行指導の研修を行った。実際に手引きや白杖歩行を体験することで、何に注意するべきか、どのような言葉掛けにするべきか、多くのことを確認することができた。

6 防災対策について

<令和3年度>

日 付	内 容	成果と課題
4月26日	第1回防災訓練 火災想定 防災シミュレーション訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・マンホール設置訓練では、新任の職員を中心に少人数で実施した。地域にも声をかけたが、残念ながら参加はなかった。 ・11月の防災訓練は、幼児児童生徒には予告なしで実施し、教員のいない状態での幼児児童生徒の動きを確認することができた。 ・12月の起震車体験は、コロナ禍の中でも実施できる数少ない防災体験である。3年ぶりの起震車体験で、初めて体験する幼児児童生徒も多かった。防災意識の向上にとっても役に立った。
6月22日	マンホール設置訓練	
6月28日	職員不審者対応訓練	
8月30日	第2回防災訓練 地震想定 引き渡し訓練	
9月14日	職員対象消火訓練	
11月11日	第3回防災訓練	
12月16日	起震車体験	
1月31日	第4回防災訓練 地震火災想定	

<令和4年度>

日付	内容	成果と課題
4月26日	第1回防災訓練 火災想定 防災シミュレーション訓練	<ul style="list-style-type: none"> • これまでのところ、予定どおり実施できている。 • マンホール設置訓練では、3年ぶりに地域の方々と実施することができた。お互いを理解する上で、とても有意義であった。 • 11月の防災訓練は、幼児児童生徒には予告なしで実施する予定である。 • スモークトンネル体験は、コロナ禍でしばらく中止されていた。そのため、実施できれば貴重な防災体験となる。防災意識の向上に役立てたい。
5月16日	マンホール設置訓練	
6月15日	職員不審者対応訓練	
8月29日	第2回防災訓練 地震想定 引き渡し訓練	
9月12日	職員対象消火訓練	
11月7日	第3回防災訓練	
11月17日	スモークトンネル体験	
1月	第4回防災訓練 地震火災想定	

7 学校開放について

静岡県立沼津視覚特別支援学校の施設等の開放に関する細則に基づき、地域におけるスポーツ活動等に対し、運動場等学校施設を開放している。

<令和3年度>

施設	利用種目	利用日数 (延日数)	利用者数 (延人数)	備考 (利用者負担電気料金)
運動場	グラウンドゴルフ	17日	116人	0円
	グラウンドソフトボール	4日	37人	0円
体育館	フロアバレーボール	1日	5人	0円
計		22日	158人	0円

<令和4年度>

(令和4年8月31日現在)

施設	利用種目	利用日数 (延日数)	利用者数 (延人数)	備考 (利用者負担電気料金)
運動場	グラウンドゴルフ	18日	118人	0円
	グラウンドソフトボール	4日	34人	0円
体育館	よさこい	12日	267人	2,760円
	フロアバレーボール	3日	31人	0円
	コーラス	1日	11人	0円
計		38日	461人	2,760円

事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
1 学校教育に関する こと	<p>教育基本法（第1条、第2条）</p> <p>学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、第76条、第77条、第82条）</p> <p>学校教育法施行規則</p> <p>教育職員免許法（第1条、第2条、第3条、第3条の2）</p> <p>学校保健安全法（第5条）</p> <p>学校給食法（第1条、第2条、第3条、第4条）</p> <p>特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第1条、第2条、第3条）</p> <p>静岡県立学校設置条例</p> <p>静岡県立特別支援学校学則</p> <p>静岡県就学支援委員会規則</p> <p>特別支援学校幼稚部教育要領</p> <p>特別支援学校小学部・中学部学習指導要領</p> <p>特別支援学校高等部学習指導要領</p>
2 学校の管理・運営 に関すること	<p>学校教育法（第137条）</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条）</p> <p>教育公務員特例法（第21条、第22条）</p> <p>学校保健安全法（第15条、第23条、第27条）</p> <p>静岡県立学校職員安全衛生管理規程</p> <p>静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱</p> <p>学校図書館法（第3条、第4条）</p> <p>静岡県立学校管理規則</p> <p>静岡県教育委員会処務規程</p> <p>静岡県教育委員会事務決裁規程</p> <p>静岡県手数料徴収条例</p> <p>特別支援学校への就学奨励に関する法律（第1条、第2条、第3条、第4条）</p> <p>特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令</p> <p>特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則</p> <p>特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱</p> <p>要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱</p>

職 員 調

(令和4年8月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	校長	山崎 久美子		□□□	年 □□□月	□□□
2	副校長	谷山 和広		□□□	□□□	□□□
3	事務長	西尾 稔		□□□	□□□	□□□
4	教諭	石川 展之	高等部	□□□	□□□	□□□
5	教諭	手塚 由美子	高等部	□□□	□□□	□□□
6	教諭	今村 光宏	小学部	□□□	□□□	□□□
7	教諭	山本 敬子	小学部	□□□	□□□	□□□
8	教諭	杉山 充功	高等部	□□□	□□□	□□□
9	教諭	二村 力也	小学部	□□□	□□□	□□□
10	教諭	浅井 孝枝	幼小学部主事	□□□	□□□	□□□
11	教諭	山形 和寛	小学部	□□□	□□□	□□□
12	教諭	福本 美恵	中学部	□□□	□□□	□□□
13	教諭	柏木 雅章	支援部	□□□	□□□	□□□
14	教諭	仲山 剛義	高等部	□□□	□□□	□□□
15	教諭	井坂 あずさ	小学部	□□□	□□□	□□□
16	教諭	加藤 佳奈	中学部主事	□□□	□□□	□□□
17	教諭	遠藤 芙美	小学部	□□□	□□□	□□□
18	教諭	川村 尚伸	高等部	□□□	□□□	□□□
19	教諭	川代 マリモ	幼稚部	□□□	□□□	□□□
20	教諭	後藤 有香	中学部	□□□	□□□	□□□
21	教諭	村上 力	中学部	□□□	□□□	□□□
22	教諭	丸山 由佳	高等部	□□□	□□□	□□□
23	教諭	山口 貴史	小学部	□□□	□□□	□□□
24	教諭	西村 智世		□□□	□□□	□□□
25	教諭	土井 真弓	中学部	□□□	□□□	□□□
26	教諭	早川 晃平	中学部	□□□	□□□	□□□
27	教諭	関 弥美 憂	幼稚部	□□□	□□□	□□□
28	教諭	土屋 奈々	小学部	□□□	□□□	□□□
29	教諭	佐野 実咲	小学部	□□□	□□□	□□□
30	養護教諭	蔭山 みどり	養護	□□□	□□□	□□□
31	栄養教諭	稲木 優	給食	□□□	□□□	□□□
32	主査	前田 由夏	事務	□□□	□□□	□□□
33	主事	田中 彩夏	事務	□□□	□□□	□□□
34	技(能)長(用)	佐藤 長之	用務	□□□	□□□	□□□
平均年数					□□□	

職員調（会計年度任用職員等）

（令和4年8月31日現在）

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭（任）	大嶽篤子	小学部	□□□	年 月 □□□	□□□
2	教諭（任）	前田真理	小学部	□□□	□□□	□□□
3	教諭（臨）	星慎一郎	高等部	□□□	□□□	□□□
4	実習助手（臨）	松本久資	高等部	□□□	□□□	□□□
5	主事（臨）	古谷まなみ	事務	□□□	□□□	□□□
6	会計年度任用職員 （非常勤講師）	飯塚幹捷	高等部	□□□	□□□	□□□
7	会計年度任用職員 （非常勤講師）	北村光広	高等部	□□□	□□□	□□□
8	会計年度任用職員 （非常勤講師）	大石喜紀	高等部	□□□	□□□	□□□
9	会計年度任用職員 （非常勤講師）	前田敏昭	自立活動	□□□	□□□	□□□
10	会計年度任用職員 （非常勤労務職員）	林孝代	コロナ対策業務	□□□	□□□	□□□
11	会計年度任用職員 （非常勤労務職員）	佐野通子	コロナ対策業務	□□□	□□□	□□□
12	会計年度任用職員 （乳幼児発達支援相談員）	木村文香	発達支援相談	□□□	□□□	□□□
13	学校医	岡田隆	内科	□□□	□□□	□□□
14	学校医	穎川功	整形外科	□□□	□□□	□□□
15	学校医	岩渕史郎	耳鼻科	□□□	□□□	□□□
16	学校医	矢田清身	眼科	□□□	□□□	□□□
17	学校歯科医	川口和子	歯科	□□□	□□□	□□□
18	薬剤師	瀬角梨恵	薬剤師	□□□	□□□	□□□

様式第2号-2

職員 の 年 齢 調

（令和4年8月31日現在）

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	5	
30歳以上40歳未満	8	
40歳以上50歳未満	7	
50歳以上56歳未満	7	
56歳以上61歳未満	5	
61歳以上	2	再任用職員2人
計	34	平均年齢 44.9歳

健康管理

1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 33 人
	職員数 33 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由

2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってもよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	8 (8) 人
D 2		要経過観察	3 (3) 人
D 3		医 療 不 要	21(21)人
区 分 者 計			32(32)人
未区分者数			2人
合 計			34(32)人

(1) 管理区分 A～C 2 該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア	産休・育休	1人
イ	新規採用	人
ウ	自己都合による未受診	人
エ	その他 (休職)	1人

余 白

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
款 14諸収入	54,744	54,744	0
項 08雑入	54,744	54,744	0
目 02雑入	54,744	54,744	0
76保険料負担金	7,535	7,535	0
非常勤職員	7,535	7,535	0
79雑収	47,209	47,209	0
雑収	29,809	29,809	0
臨床実習に係る実習料 金	17,400	17,400	0
計	54,744	54,744	0

執行状況調

(令和3年度)

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 14 諸収入	287,664	287,664	0
項 07 雑入	287,664	287,664	0
目 02 雑入	287,664	287,664	0
81 保険料負担金	245,830	245,830	0
保険料負担金	199,761	199,761	0
非常勤職員	46,069	46,069	0
84 雑収	41,834	41,834	0
雑収	26,834	26,834	0
臨床実習に係る実習料 金	15,000	15,000	0
計	287,664	287,664	0

執行状況調

(令和4年度)
(令和4年8月31日現在)

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0

現金出納調

(令和 3年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書 及び枚数
	越 高	受 高	計				
雑入	円 0	円 22,600	円 22,600	円 22,600	円 0	円 22,600 36 枚	円 22,600 36 枚
計	0	22,600	22,600	22,600	0	22,600 36 枚	22,600 36 枚

現金出納調

(令和 4年度)

(令和 4年 8月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書 及び枚数
	越 高	受 高	計				
雑入	円 0	円 27,240	円 27,240	円 27,240	円 0	円 27,240 47 枚	円 27,240 27 枚
計	0	27,240	27,240	27,240	0	27,240 47 枚	27,240 27 枚

預 金 調

(令和4年8月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
スルガ銀行 沼津セントラル支店	無利息型 普通預金	2530640	(自振口) 沼津視覚特別支援学校 資金前渡者 山崎久美子	0	財務会計 自動口座振替用
スルガ銀行 沼津セントラル支店	無利息型 普通預金	2530639	沼津視覚特別支援学校 資金前渡者 山崎久美子	0	給与及び財務会計 資金前渡用
スルガ銀行 沼津セントラル支店	無利息型 普通預金	604056	沼津視覚特別支援学校 奨励費代理受領者 山崎久美子	0	就学奨励費用
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和4年8月31日現在)

(単位: 枚、円)

区分	種 類	令和3年度						令和4年度								摘 要
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵便	100円券	0	0	2	200	2	200	0	0	0	0	0	0	0	0	連絡通信 用
	レターパック プラス (520円)	0	0	9	4,680	9	4,680	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		/	0	/	4,880	/	4,880	/	0	/	0	/	0	/	0	
プリ ペイ ドカ ード	2,550円券	0	0	1	2,550	1	2,550	0	0	0	0	0	0	0	0	ダウンロ ード用
計		/	0	/	2,550	/	2,550	/	0	/	0	/	0	/	0	

歳入歳出外現金調

(令和 3年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
所得税	円 5,445	円 70,991	円 75,231	円 1,205	
計	5,445	70,991	75,231	1,205	

歳入歳出外現金調

(令和 4年度)
(令和 4年 8月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
所得税	円 1,205	円 60,207	円 58,050	円 3,362	
縣市町村民税	0	4,000	0	4,000	
計	1,205	64,207	58,050	7,362	

歳出予算執行状況調

(令和 3年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	31,905,621	31,867,121	0	
項 02 教育委員会費	5,453,518	5,453,518	0	
目 02 教育総務費	4,860	4,860	0	
04 共済費	4,860	4,860	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	4,860	4,860	0	
目 03 教育管理費	5,292,658	5,292,658	0	
10 需用費	4,358,428	4,358,428	0	
01 その他の需用費	4,358,428	4,358,428	0	
11 役務費	52,030	52,030	0	
12 委託料	303,600	303,600	0	
17 備品購入費	578,600	578,600	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
目 06 総合教育センター費	36,000	36,000	0	
10 需用費	36,000	36,000	0	
01 その他の需用費	36,000	36,000	0	
項 07 特別支援学校費	19,919,203	19,919,203	0	
目 01 特別支援学校費	2,360,076	2,360,076	0	
01 報酬	1,221,060	1,221,060	0	
03 非常勤職員報酬	1,221,060	1,221,060	0	
04 共済費	48,466	48,466	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	48,466	48,466	0	
08 旅費	1,090,550	1,090,550	0	
01 その他の旅費	25,691	25,691	0	
02 普通旅費	1,064,859	1,064,859	0	
目 02 特別支援学校管理費	17,559,127	17,559,127	0	
01 報酬	3,139,000	3,139,000	0	

(令和 3年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
03非常勤職員報酬	3,139,000	3,139,000	0	
03職員手当等	388,237	388,237	0	
01その他の職員手当等	388,237	388,237	0	
04共済費	18,264	18,264	0	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	18,264	18,264	0	
07報償費	102,000	102,000	0	
01その他の報償費	102,000	102,000	0	
08旅費	128,840	128,840	0	
01その他の旅費	128,840	128,840	0	
02普通旅費	0	0	0	
10需用費	9,020,588	9,020,588	0	
01その他の需用費	9,020,588	9,020,588	0	
11役務費	1,193,916	1,193,916	0	
12委託料	531,300	531,300	0	
13使用料及び賃借料	233,280	233,280	0	
17備品購入費	297,000	297,000	0	
18負担金、補助及び交付金	51,500	51,500	0	
19扶助費	2,455,202	2,455,202	0	
項 08学校教育費	6,532,900	6,494,400	0	
目 04健康体育費	6,532,900	6,494,400	0	
11役務費	17,600	17,600	0	
12委託料	6,515,300	6,476,800	0	
計	31,905,621	31,867,121	0	

歳出予算執行状況調

(令和 4年度)
(令和 4年 8月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	29,940,698	10,805,279	19,135,419	
項 02 教育委員会費	1,174,030	103,510	1,070,520	
目 03 教育管理費	1,006,030	103,510	902,520	
08 旅費	10,000	0	10,000	
02 普通旅費	10,000	0	10,000	
10 需用費	944,000	99,990	844,010	
01 その他の需用費	944,000	99,990	844,010	
11 役務費	52,030	3,520	48,510	
目 04 教育厚生費	120,000	0	120,000	
01 報酬	120,000	0	120,000	
03 非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
目 06 総合教育センター費	48,000	0	48,000	
10 需用費	48,000	0	48,000	
01 その他の需用費	48,000	0	48,000	
項 07 特別支援学校費	19,963,140	7,810,918	12,152,222	
目 01 特別支援学校費	3,066,000	1,445,028	1,620,972	
01 報酬	1,888,000	751,060	1,136,940	
03 非常勤職員報酬	1,888,000	751,060	1,136,940	
04 共済費	62,000	0	62,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	62,000	0	62,000	
08 旅費	1,116,000	693,968	422,032	
01 その他の旅費	83,000	25,625	57,375	
02 普通旅費	1,033,000	668,343	364,657	
目 02 特別支援学校管理費	16,897,140	6,365,890	10,531,250	
01 報酬	1,202,000	766,000	436,000	
03 非常勤職員報酬	1,202,000	766,000	436,000	
03 職員手当等	268,000	252,000	16,000	
01 その他の職員手当等	268,000	252,000	16,000	

(令和 4年度)
(令和 4年 8月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
04 共済費	367,000	243,192	123,808	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	367,000	243,192	123,808	
07 報償費	132,000	33,000	99,000	
01 その他の報償費	132,000	33,000	99,000	
08 旅費	782,440	45,266	737,174	
01 その他の旅費	82,440	45,266	37,174	
02 普通旅費	700,000	0	700,000	
10 需用費	7,910,500	2,999,777	4,910,723	
01 その他の需用費	7,910,500	2,999,777	4,910,723	
11 役務費	1,196,000	234,312	961,688	
12 委託料	532,000	84,700	447,300	
13 使用料及び賃借料	291,000	208,560	82,440	
17 備品購入費	1,340,000	643,720	696,280	
18 負担金、補助及び交付金	160,200	31,500	128,700	
19 扶助費	2,716,000	823,863	1,892,137	
項 08 学校教育費	8,803,528	2,890,851	5,912,677	
目 03 特別支援教育費	2,183,728	723,081	1,460,647	
01 報酬	1,567,728	495,072	1,072,656	
03 非常勤職員報酬	1,567,728	495,072	1,072,656	
03 職員手当等	288,000	62,379	225,621	
01 その他の職員手当等	288,000	62,379	225,621	
04 共済費	275,000	152,276	122,724	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	275,000	152,276	122,724	
08 旅費	53,000	13,354	39,646	
01 その他の旅費	53,000	13,354	39,646	
目 04 健康体育費	6,619,800	2,167,770	4,452,030	
10 需用費	87,400	0	87,400	
01 その他の需用費	87,400	0	87,400	

(令和 4年度)
(令和 4年 8月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
11 役務費	5,000	4,400	600	
12 委託料	6,527,400	2,163,370	4,364,030	
計	29,940,698	10,805,279	19,135,419	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					2年度	3年度	左のうち、2年度からの繰越額
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		303,600	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		531,300	0
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		6,476,800	0
計					6,763,311	7,311,700	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		0	0
計					5,676,000	0	0
(16) 公有財産購入費						0	0
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		578,600	578,600
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		297,000	0
計					5,334,260	875,600	578,600
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		51,500	
計					46,000	51,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	0
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和4年8月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、3年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	84,700	0
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費	2,163,370	0
計					2,248,070	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	643,720	326,700
計					643,720	326,700
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	31,500	0
計					31,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和3年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額			契約締結 方法	契約期間	支出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 給食業務	シダックス 大新東 ヒューマン サービス㈱ 静岡営業 所	20,538,100	18,414,000		18,414,000	一般	R2.8.7 R5.7.31		円	学校給食 の調理及 び配膳等	2長期
										511,500		
										511,500		
										511,500		
										511,500		
										511,500		
										511,500		
										511,500		
										511,500		
										511,500		
										511,500		
										511,500		
										511,500		
										6,138,000		
2	トイレ清掃業務	サインズ㈱	246,840	246,840		246,840	随契	R3.4.16 R4.3.31		円	校内トイレ 清掃	随契3号 (福祉関係 施設等)
										20,570		
										20,570		
										20,570		
										20,570		
										20,570		
										20,570		
										20,570		
										20,570		
										20,570		
										20,570		
										20,570		
										20,570		
										246,840		
3	沼津視覚特別 支援学校外1校 防鼠・防虫業務	㈱三島美装	271,700	234,300		234,300	随契	R3.4.16 R4.3.31		円	鼠、ゴキブリ 等の衛生 害虫の駆 除及び点 検調査	随契1号 (少額) 沼津聴覚 特別支援 学校
										10,450		
										10,450		
										10,450		
										64,900		
										10,450		
										10,450		
										10,450		
										10,450		
										10,450		
										10,450		
										10,450		
										64,900		
										234,300		
4	厨房グリスト ラップ槽清掃及び 産業廃棄物収 集・運搬業務	三友水処 理㈱	95,700	94,600		94,600	随契	R3.6.22 R4.3.31		円	厨房グリス トラップ槽の 清掃及び 汚泥収集・ 運搬	随契1号 (少額)
										18,150		
										58,300		
										18,150		
	94,600											
5	産業廃棄物処 分	クリーン サービス㈱	処分料 1kg 22.0円	処分料 1kg 22.0円		処分料 1kg 22.0円	随契	R3.6.22 R4.3.31		円	厨房グリス トラップ槽の 汚泥処分	随契1号 (少額) 単価契約
										2,420		
										5,060		
										2,420		
	9,900											
6	厨房清掃業務	㈱カンザイ	196,460	196,460		196,460	随契	R3.7.29 R4.3.31		円	厨房及び 下処理室 の設備の清 掃	随契1号 (少額)
										93,720		
										51,370		
										51,370		
	196,460											
7	産業廃棄物収 集・運搬及び処 分業務	㈱東部処 理	88,000	88,000		88,000	随契	R4.2.1 R4.3.31		円	混合廃棄 物の収集・ 運搬及び 処分	随契1号 (少額)
										88,000		
事務関係計		7件								7,008,100		

整理 番号	委託業務名	受託者	当初 設計金額	契 約 金 額			契約締結 方 法	契約期間	支 出 年 月 日	金 額	委託業務 の内容	摘 要
				当初額	変更増減額	計						
1	(工事関係) アスベスト及びP CB・鉛・クロム含 有調査業務	(株)エコアッ プ	456,500	339,900	-36,300	303,600	随契	R4.2.10 R4.3.25	R4.4.28	303,600	アスベスト 及びPCB・ 鉛・クロム含 有調査	随契1号 (少額)
	工事関係計	1件								303,600		
	合 計	8件								7,311,700		
参考 1	沼津聴覚特別 支援学校外2校 自家用電気工 作物保安管理 業務	橋本電気 管理事務 所		715,660		715,660		R3.4.1 R4.3.31			自家用電 気工作物 の保守点 検	沼津聴覚 特別支援 学校
参考 2	沼津西高等学 校外12校プール 浄化装置保守 点検業務	三友水処 理(株)		171,600		171,600		R3.4.14 R3.11.30			プール浄化 装置保守 点検	沼津西高 等学校
参考 3	沼津城北高等 学校外6校可燃 物収集運搬処 理業務	(有)大真商 会		運搬料 1回 26,180円 処分料 1kg 6.82円		運搬料 1回 26,180円 処分料 1kg 6.82円		R3.4.9 R4.3.31			一般廃棄 物の回収	沼津城北 高等学校
参考 4	沼津工業高等 学校外7校消防 用設備等保守 点検業務	㈱藤興産		1,963,500		1,963,500		R3.4.1 R4.3.31			消防用設 備の保守 点検	沼津工業 高等学校
参考 5	沼津東高等学 校外8校警備業 務	セコム(株)		8,316,000		8,316,000		R1.10.1 R6.9.30			機械警備	沼津東高 等学校 1長期
参考 6	沼津商業高等 学校外4校ガス ヒートポンプエ アコン点検業務	菱友冷熱(株)		1,117,600		1,117,600		R3.6.30 R3.9.13			ガスヒート ポンプエ アコンの 点検	沼津商業 高校
	計	6件										

負担金支出調

(令和3年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	中部地区盲学校長会会費	中部地区盲学校長会	会則による	年会費 1人分	円 3,000	R3.6.11
2	中部地区盲学校副校長・教頭会会費	中部地区盲学校副校長・教頭会	会則による	年会費 1人分	1,000	R3.7.21
3	全日本盲学校教育研究大会参加費	全日本盲学校教育研究会	開催要項による	参加費 1団体分	3,500	R3.7.28
4	全国盲学校長会会費	全国盲学校長会	会則による	年会費 1人分	20,000	R3.7.30
5	全国盲学校副校長・教頭会年会費	全国盲学校副校長教頭会	会則による	年会費 1人分	4,000	R3.9.14
6	弱視教育研究全国大会参加費	日本弱視教育研究会	開催通知による	1団体分	10,000	R3.12.27
7	子どもの体験型防犯口座「あぶトレ！」負担金	県くらし・環境部県民生活局くらし交通安全課長	開催通知による	1校分	10,000	R4.3.11
計		7 件			51,500	

負担金支出調

(令和4年度)

(令和4年8月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	中部地区盲学校長会会費	中部地区盲学校長会	会則による	年会費 1人分	円 3,000	R4.5.26
2	全国視覚障害早期教育研究会参加費	全国視覚障害早期教育研究会	開催通知による	参加費 1人分	2,000	R4.7.1
3	全国盲学校副校長・教頭会総会参加費	全国盲学校副校長・教頭会	会則による	年会費 1人分	2,000	R4.7.20
4	中部地区盲学校副校長・教頭会会費	中部地区盲学校副校長・教頭会	会則による	年会費 1人分	1,000	R4.7.27
5	全国盲学校長会会費	全国盲学校長会	会則による	年会費 1人分	20,000	R4.7.29
6	全日本盲学校教区研究大会・富山大会参加登録及び参加費	第97回令和4年度全日本盲学校教育研究大会・富山大会運営委員長	開催通知による	参加費 1人分	3,500	R4.8.4
計		6 件			31,500	

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額		
					当初額	変更増減額	計
		該当なし		円	円	円	円
		合 計					

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額		
					当初額	変更増減額	計
		該当なし		円	円	円	円
		合 計					

事

調

(令和3年度)

契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産 台帳	摘要
			円			

事

調

(令和4年度)

(令和4年8月31日現在)

契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産 台帳	摘要
			円			

公 有 財 産 調

(令和3年度)

区分	令和3年3月31日現在		増		減		令和4年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 1,482,805	/	千円 63	/	千円 27,184	/	千円 1,455,684	
土地	m ² 8,729.84	1,234,811					m ² 8,729.84	1,234,811	
立木竹	本 109	1,916			1	33	本 108	1,883	
建物	m ² 2,280.53 4,780.31	147,888				20,877	m ² 2,280.53 4,780.31	127,011	
工作物	個 84	98,190	個 1	63	1	6,274	個 84	91,979	
公有財産に準ずるもの	/	161	/		/		/	161	
電話加入権	件 5	161					件 5	161	

公 有 財 産 調

(令和4年度)
(令和4年8月31日現在)

区分	令和4年3月31日現在		増		減		令和4年8月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 1,455,684	/	千円	/	千円	/	千円 1,455,684	
土地	m ² 8,729.84	1,234,811					m ² 8,729.84	1,234,811	
立木竹	本 108	1,883					本 108	1,883	
建物	m ² 2,280.53 4,780.31	127,011					m ² 2,280.53 4,780.31	127,011	
工作物	個 84	91,979					個 84	91,979	
公有財産に準ずるもの	/	161	/		/		/	161	
電話加入権	件 5	161					件 5	161	

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和4年8月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
長期継続契約	電子複写機賃貸借	電子複写機2台を5年間賃借する (契約日) 2.4.1	676,500	円 135,300	円 135,300	円 135,300	円 135,300	円 135,300

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)			
				29年度	30年度	元年度	2年度
長期継続契約	給食業務委託	給食調理、配膳等の業務を委託する (契約日) 29.8.10	15,669,399	円 3,456,000	円 5,184,000	円 5,225,768	円 1,803,631

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)			
				2年度	3年度	4年度	5年度
長期継続契約	給食業務委託	給食調理、配膳等の業務を委託する (契約日) 2.8.7	18,414,000	円 4,092,000	円 6,138,000	円 6,138,000	円 2,046,000

行政財産貸付・使用許可調

(令和4年8月31日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数 量 又 は 面 積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸 付 ・ 使用許可 目 的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建 物	事務所	沼津市米山町 6-20	RC	3F	0.38 m ²	円	免除	円 2.4.1~ 7.3.31	沼津市長	防災無線・ 同報無線戸 別受信機設 置
2	土 地	学校敷地	沼津市米山町 6-20			10.34 m ²	円	免除	円 2.4.1~ 7.3.31	沼津市第五東地区 連合自治会長	防災倉庫設 置
3	土 地	学校敷地	沼津市米山町 6-20			2.49 m ²	円	免除	円 2.4.1~ 7.3.31	沼津市長	公共柵・取 付管設置
						4.6m ²					
4	土 地	学校敷地	沼津市米山町 6-20			0.46 m ²	円	免除	円 2.4.1~ 7.3.31	東京電力パワーグ リッド(株)静岡総支 社長	電気供給用 配電箱設置
5	建 物	雑 屋	沼津市米山町 6-20	CB	1F	6.65 m ²	円	免除	円 2.4.1~ 7.3.31	沼津市長	避難所分散 備蓄用品収 納
6	建 物	住 宅	沼津市米山町 6-20	RC	2F	25.87 m ²	円	免除	円 3.4.1~ 6.3.31	東部社会教育振興 協議会長	事務室設置
						11.50 m ²					駐車場利用
7	建 物	事務所	沼津市米山町 6-20	RC	3F	0.05 m ²	円	免除	円 3.11.30 ~ 7.3.31	沼津市長	同報無線戸 別受信機(デ ジタル化機 器)更新
8	土 地	学校敷地	沼津市米山町 6-20			16.61 m ²	円	免除	円 3.12.27 ~ 7.3.31	沼津市長	防災倉庫設 置
9	土 地	学校敷地	沼津市米山町 6-20			0.79 m ²	円	免除	円 4.2.18~ 7.3.31	沼津市長	避難地案内 看板設置
						0.60 m ²					避難地表示 看板設置
合 計							円				

備品・図書調

1 / 3 頁
(令和 3年度)

区分	令和 3年 3月31日 現在	増		減		令和 4年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-02 台類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-04 収納保管庫類	24	(0) 0	0	(0) 0	0	24
01-05 印刷機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-06 印字器具類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-07 書類整理器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-11 照明器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-12 寝具類	0	(0) 1	407,000	(0) 0	0	1
01-13 厨房器具類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
01-14 冷暖房器具類	28	(0) 0	0	(0) 1	0	27
01-99 その他の庁用器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
02-01 情報処理機器類	81	(22) 23	121,000	(0) 2	0	102
02-02 情報伝達機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
02-03 再生機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-01 撮影機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-02 観察・観測用光学機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-03 視覚用再生等機器類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
04-01 診療・診断用機器類	17	(0) 0	0	(0) 1	0	16

備品・図書調

2 / 3 頁
(令和 3年度)

区分	令和 3年 3月31日 現在	増		減		令和 4年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
04-02 衛生検査用機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-03 看護用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-05 機能回復訓練機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-06 獣医用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-03 電気試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-06 環境化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-08 度量衡測定機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-99 その他の船車類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
09-01 標本美術品	18	(0) 0	0	(0) 0	0	18
10-01 国語用器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
10-03 社会用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
10-07 音楽用器具類	15	(0) 1	171,600	(0) 0	0	16
10-08 芸術用器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-12 体育保健用器具類	8	(0) 1	176,000	(0) 0	0	9

備品・図書調

区 分	令和 3年 3月31日 現在	増		減		令和 4年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
10-99 その他の教育用器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
12-01 雑機器	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
計	320	(22) 26	875,600	(0) 4	0	342

備品・図書調

1 / 3 頁
(令和 4年度)

区分	令和 4年 3月31日 現在	増		減		令和 4年 8月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-02 台類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-04 収納保管庫類	24	(0) 0	0	(0) 0	0	24
01-05 印刷機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-06 印字器具類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-07 書類整理器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-11 照明器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-12 寝具類	1	(0) 1	186,120	(0) 0	0	2
01-13 厨房器具類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
01-14 冷暖房器具類	27	(0) 0	0	(0) 0	0	27
01-99 その他の庁用器具類	5	(0) 1	130,900	(0) 0	0	6
02-01 情報処理機器類	102	(0) 0	0	(0) 0	0	102
02-02 情報伝達機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
02-03 再生機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-01 撮影機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
03-02 観察・観測用光学機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-03 視覚用再生等機器類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
04-01 診療・診断用機器類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16

備品・図書調

2 / 3 頁
(令和 4年度)

区分	令和 4年 3月31日 現在	増		減		令和 4年 8月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
04-02 衛生検査用機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-03 看護用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-05 機能回復訓練機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-06 獣医用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-03 電気試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-06 環境化学機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-08 度量衡測定機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-99 その他の船車類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
09-01 標本美術品	18	(0) 0	0	(0) 0	0	18
10-01 国語用器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
10-03 社会用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
10-07 音楽用器具類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
10-08 芸術用器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
10-12 体育保健用器具類	9	(0) 1	326,700	(0) 0	0	10

備品・図書調

区 分	令和 4年 3月31日 現在	増		減		令和 4年 8月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
10-99 その他の教育用器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
12-01 雑機器	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
計	342	(0) 3	643,720	(0) 0	0	345

主 要 備 品 調

(令和4年8月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	9-1	展示品	点字教材制作 ブレイルマスターJD-602	展示中、視覚障害者支援機器として授業や見学時に紹介	昭和59年3月	円 9,300,000
2	9-1	展示品	パソコン一式 IBM 点字辞書検索システム搭載	展示中、視覚障害者支援機器として授業や見学時に紹介	平成5年8月	3,446,380
3	5-6	その他の環境化学機器	放射能測定装置・プリンター・PC	学校給食食材放射能測定用 年間32日使用	平成24年3月	2,730,000
4	4-2	機能検査機器	筋電計 日本光電工業MEM7102	理療科授業用 年間300時数の中で使用	平成2年12月	2,647,100
5	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	点字プリンター 日本テレソフトBPW-32	授業及び教材・管理運営用 資料作成、年間200日使用	平成14年3月	1,863,330
6	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	点字プリンター 日本テレソフトBPW-32	授業及び教材・管理運営用 資料作成、年間200日使用	平成13年3月	1,795,500
7	4-1	その他の一般機器	干渉・吸引低周波治療器 ミナト医学SK-7W	理療科授業用 年間300時数の中で使用	平成10年3月	1,774,500
8	1-13	調理器具	調理器具 真空冷却機 三浦工業 JS-20QE	学校給食調理用 年間190日使用	平成23年3月	1,569,750
9	2-1	レーザープリンター・スキャナ	インクジェットプリンター 点字・墨字同時作成	授業及び教材・管理運営用 資料作成、年間200日使用	平成25年3月	1,475,250
10	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	点字プリンター 日本テレソフトDOG-Multi	授業及び教材・管理運営用 資料作成、年間200日使用	令和3年3月	1,393,700
11	1-5	複写機	立体コピーデジタル複写機・現像機セット コニカミノルタ	教材作成用 年間130日使用	平成24年3月	1,365,000
12	1-13	食品食器洗浄機	食器洗浄機システム 横河電子機器SMRT A5 SUPER	学校給食食器洗浄用 年間190日使用	平成13年3月	1,333,500
13	2-2	放送装置	放送装置 校内放送設備	チャイム・非常放送用 毎日使用	平成25年3月	1,249,500
14	2-2	その他の情報伝達機器	学校教育用50インチプラズマ 電子情報ボード	授業用 年間160日使用	平成21年2月	1,089,935
15	9-1	展示品	点字製版機 小林鉄工 足踏式	展示中、視覚障害者支援機器として授業や見学時に紹介	昭和53年3月	1,050,000
16	4-1	その他の一般機器	心電計 日本光電 ECG6303	理療科授業用 年間300時数の中で使用	平成3年10月	996,000
17	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	点字プリンタ 防音箱付	授業及び教材・管理運営用 資料作成、年間190日使用	平成17年2月	967,575
18	1-14	エアコンディショナー	エアコン 三菱PKZ-RP1	幼稚部授業・日常活動 年間100日使用	平成15年3月	913,395
19	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	点字プリンター JTR ESA721Ver,95	授業及び教材・管理運営用 資料作成、年間200日使用	平成28年3月	907,200
20	4-1	外科整形用機器	電動型間欠牽引装置 蒸気浴装置付	理療科授業用 年間300時数の中で使用	昭和61年6月	900,000